

いしかわ学

石川の「人」「もの」「自然」と「こころ」を学ぶ—

石川県の伝統や文化、自然、人々の暮らしにまつわる
4シリーズからなり、講師には地元大学の研究者をはじめ、
各界の第一線で活躍されている方々をお迎えします。
いずれの講義も受講は無料。
この機会に石川をもっと学んでみませんか。

いしかわの
「歴史と文化」「自然環境」

4シリーズ

いしかわの
「ものづくり」「医療」

受講料
無料

開催期間

2008年9月10日(水) - 11月22日(土)

主 催

大学コンソーシアム石川

受講定員

各回70名

[ただし、10月30日(金)の『手業(てわざ)に学ぶ』は定員30名とします。]

【講座申込】

受講希望者は、必要事項【住所／氏名／電話番号／希望する「講座名」】を記載の上、e-mail、FAX、はがきでお申し込みください。

e-mail info@ucon-i.jp
FAX番号 076-223-1644
住所 〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1
石川県広坂庁舎1号館
大学コンソーシアム石川事務局 宛

講座一覧

いしかわの「歴史と文化」シリーズ

○金沢会場(石川県広坂庁舎)

9月13日(土) 10:30-12:00

『三文豪と金沢』

講師 秋山 稔 金沢学院大学教授

9月19日(金) 19:00-20:30

『金沢卯辰山麓寺院群の景観特性と町並みデザイン』

講師 黒川 威人 金城大学短期大学教授

9月21日(日) 10:30-12:00

『加賀藩の能楽 —金春流から宝生流へ—』

講師 藤島 秀隆 金沢工業大学名誉教授・金沢能楽美術館館長

○加賀会場(白山市)

9月27日(土) 13:30-15:00

『中世における白山加賀側の宗教組織』

講師 由谷 裕哉 小松短期大学准教授

いしかわの「自然環境」シリーズ

○金沢会場(石川県広坂庁舎)

9月12日(金) 19:00-20:30

『石川の里山、里海』

講師 あん・まくどなと

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット所長

9月13日(土) 13:30-15:00

『能登半島地震が教えてくれたもの』

講師 宮島 昌克 金沢大学教授

9月24日(水) 19:00-20:30

『石川県の自然環境 とくに森林の役割』

講師 菊沢 喜八郎 石川県立大学教授

いしかわの「ものづくり」シリーズ

○金沢会場(石川県広坂庁舎)

9月10日(水) 19:00-20:30

『日本人の食卓から中国産食品が消えるのか』

講師 宋 涛 金沢星稜大学専任講師

10月3日(金) 19:10-20:40

『農業の6次産業化とブランディング』

～農商工連携による新ビジネスの可能性～

講師 大友 信秀 金沢大学教授

10月17日(金) 19:00-20:30

『金沢和傘—モノ作りと使い手の喜び—』

語り手 松田 弘 和傘職人

聞き手 澤 信俊 金沢星稜大学教授

平嶋 聖子 金沢星稜大学学生

○金沢会場(石川四高記念文化交流館)

10月30日(木) 19:10-20:40

『手業(てわざ)に学ぶ』

講師 塩野 米松 作家・白山麓餅村塾教授

○能登会場(七尾市)

11月22日(土) 13:30-15:00

『中山間地域の現状と農村活性化の課題』

～農商工連携による新ビジネスの可能性～

講師 高橋 強 石川県立大学教授

○能登会場(能登町)

10月25日(土) 13:30-15:00

『無形文化遺産を生かした地域づくり』

講師 神谷 浩夫 金沢大学教授

いしかわの「医療」シリーズ

○金沢会場(石川県広坂庁舎)

9月22日(月) 19:00-20:30

『認知症の人を知ろう! ～認知症ケアの基本～』

講師 木谷 尚美 金城大学准教授

○加賀会場(能美市)

10月26日(日) 13:30-15:00

『なぜ悪い メタボちゃん』

講師 田村 暢熙 金沢医科大学教授

本事業は石川県からの委託事業として大学コンソーシアム石川が実施します。

お申込・お問い合わせ先

大学コンソーシアム石川事務局

〒920-0962 金沢市広坂2丁目1-1 (石川県広坂庁舎1号館)

TEL.076-223-1633 FAX.076-223-1644

e-mail: info@ucon-i.jp

ホームページ http://www.ucon-i.jp

講座概要

いしかわの「歴史と文化」シリーズ

『三文豪と金沢』

9月13日(土) 10:30～

講師 秋山 稔

金沢を代表する三人の文学者は、故郷をどのように描いているのでしょうか、また、故郷を描くことに、どのような意味があったのでしょうか。泉鏡花「照葉狂言」、徳田秋声「挿話」、室生犀星「抒情小曲集」を取り上げて具体的に考えます。

『金沢卯辰山麓寺院群の景観特性と町並みデザイン』

9月19日(金) 19:00～

講師 黒川威人

国の重要伝統的建造物群に指定されている東山ひがしを北および東方から包み込むように広がる卯辰山麓寺院群は地形の複雑さとも相まって独自の町並み景観を形成しています。景観の成り立ち、構造を読み解き、今後の魅力的な町並みデザインに生かす方法を考えます。

『加賀藩の能楽 一金春流から宝生流へ』

9月21日(日) 10:30～

講師 藤島秀隆

加賀藩祖の前田利家は、豊臣秀吉の影響を受けて金春流の能を愛好しました。また二代藩主利長は寺中佐助武明神(現、大野湊神社)の神事能を復興させ、三代藩主都利常は卯辰山観音院山王社の神事能を命じています。更に五代藩主綱紀は宝生流を採用し保護・育成に努めました。これらを中心に解説します。

『中世における白山加賀側の宗教組織』

9月27日(土) 13:30～

講師 由谷裕哉

中世における白山加賀側の宗教組織は、共に現在の白山市内にあったと考えられる、本宮(白山比咩神社の前身)および中宮を中心としていたというのが通説である。しかし、これは白山比咩神社所蔵の重文史料『白山紀』の主張する情報にとどまる。ここでは、14世紀に本宮としばしば抗争したと伝えられる、金剣宮に関わる文献資料からこの問題を再考したい。

いしかわの「自然環境」シリーズ

『石川の里山、里海』

9月12日(金) 19:00～

講師 あん・まくどなるど

この講義では能登半島の里山里海の3つのケーススタディーを、フィールドワークの写真とともに紹介します。最初に金蔵地区の里山を、次に珠洲の塩田と舩倉島の海女を里海の例として簡単に説明します。その後、2010年10月の生物多様性条約第10回締結会議(COP10)に向けて、里山・里海サブグローバル評価北信越クラスターレポートの準備を進める、国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットの活動についてお話します。

『能登半島地震が教えてくれたもの』

9月13日(土) 13:30～

講師 宮島昌克

能登半島地震から1年半が経とうとしていますが、この間、新潟や岩手、宮城で大きな地震が起こりました。また中国の四川省でも極めて大きな地震災害が起こっています。能登半島地震を振り返るとともに、それ以降の地震災害と比較し、今後の教訓を探ります。

『石川県の自然環境 とくに森林の役割』

9月24日(水) 19:00～

講師 菊沢喜八郎

石川県は山地—山麓部—扇状地—河川—海岸部—海といった幅広い環境に恵まれている。森林帯でいえば、高山お花畑、常緑針葉樹林、落葉広葉樹林、常緑広葉樹林がこれに対応する。石川県の自然環境を紹介し、特にその大きな部分を占める森林について、水環境、大気環境の面から考えます。

いしかわの「ものづくり」シリーズ

『日本人の食卓から中国産食品が消えるのか』

9月10日(水) 19:00～

講師 宋 涛

中国餃子、冷凍品などの中国産食品に対する不信任感が増幅している中、食料自給率が39%しかない日本では国産食品が中国産を代替することができるのか。ギョーザ事例により日本経済に与える影響を解説する。また、日本の食糧問題の現実と課題について話します。

『農業の6次産業化とブランディング ～農商工連携による新ビジネスの可能性～』

10月3日(金) 19:10～

講師 大友信秀

生産すればあとは農協がなんとかしてくれた農業がなぜ問題となっているのか。農業の構造的問題を理解し、ブランディングの手法からビジネスとして成功させる方法を考える。

『金沢和傘—モノ作りと使い手の喜び—』

10月17日(金) 19:00～

語り手 松田 弘

聞き手 澤 信俊 平嶋聖子

昭和30年代まで金沢市内に多くの和傘店が営業していたが、その後は洋傘におされ、生業として和傘作りは困難になった。現在、ただ1人の和傘職人になってしまった松田弘さんが金沢和傘のこれからを語る。

『手業(てわざ)に学ぶ』

10月30日(木) 19:10～

講師 塩野米松

全国各地の手仕事に生きる人々について話を聞いてきた。自然の恵みを活かしながら、努力を積み重ね、蓄えられてきた知恵と技。そこから学ぶことは多い。なかでも彼らの仕事に共通する「循環の智慧」は今の時代の道標になる。石川県で出会った職人の話を通して、手仕事の思想に迫る。

『無形文化遺産を生かした地域づくり』

10月25日(土) 13:30～

講師 神谷浩夫

能登地域は伝統的な祭りの宝庫である。しかし、過疎化の進展によってこうした文化遺産を後世に引き継ぐことが難しくなっている地区もある。今回の講座の前半では無形文化遺産を観光など地域おこしに役立てている事例を紹介し、後半では、能登の祭りを地域おこしに活用する方法について参加者のみなさんと考えてみたい。

『中山間地域の現状と農村活性化の課題 ～農商工連携による新ビジネスの可能性～』

11月22日(土) 13:30～

講師 高橋 強

中山間地域では少子・高齢化の進行が著しく、そのため農林地の適切な利用・管理が困難で耕作放棄が進み、集落消滅の危機に直面している所も少なくない。そこで能登半島地域を事例として、過疎・高齢化の進行の現状を分析するとともに、農林漁業経営、地域資源管理、都市農村交流といった観点から地域活性化の課題を解説するとともに、農商工連携、産地地消、産学官連携などによる新ビジネスなどの可能性および創出について考える。

いしかわの「医療」シリーズ

『認知症の人を知ろう！～認知症ケアの基本～』

9月22日(月) 19:00～

講師 木谷尚美

認知症の人の支援において何よりも必要なことは、その人を知ることです。その人を理解できれば、対応の仕方わかります。「介護を受ける人もする人も笑顔になれる！」そんなケアの方法と一緒に考えてみたいと思います。

『なぜ悪い メタボちゃん』

10月26日(日) 13:30～

講師 田村暢照

どのようにしてメタボはおこるのか？なぜメタボは悪いのか？メタボを改善するにはどうすればよいのか。などについてお話しし、手軽に行える改善方法を一緒に挙げる予定です。

会場地図

